



位置図

特記事項
(工事概要)

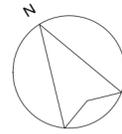
- ・既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
※更新箇所は図示による

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。



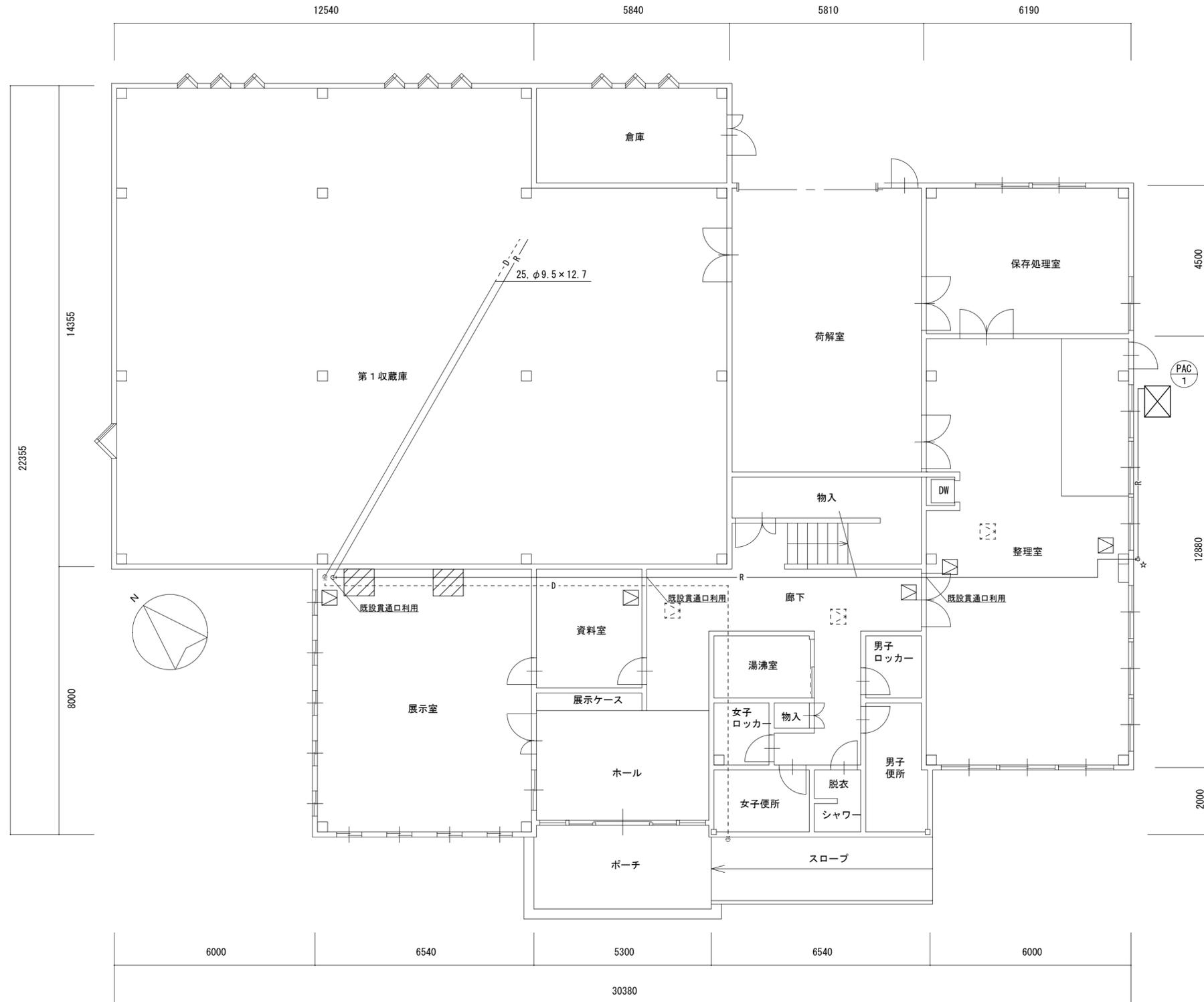
配置図 1/400

 : 工事対象範囲示す

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」
「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」
「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編)平成31年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/400
図面名称	位置図・配置図・特記仕様書	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 1/7



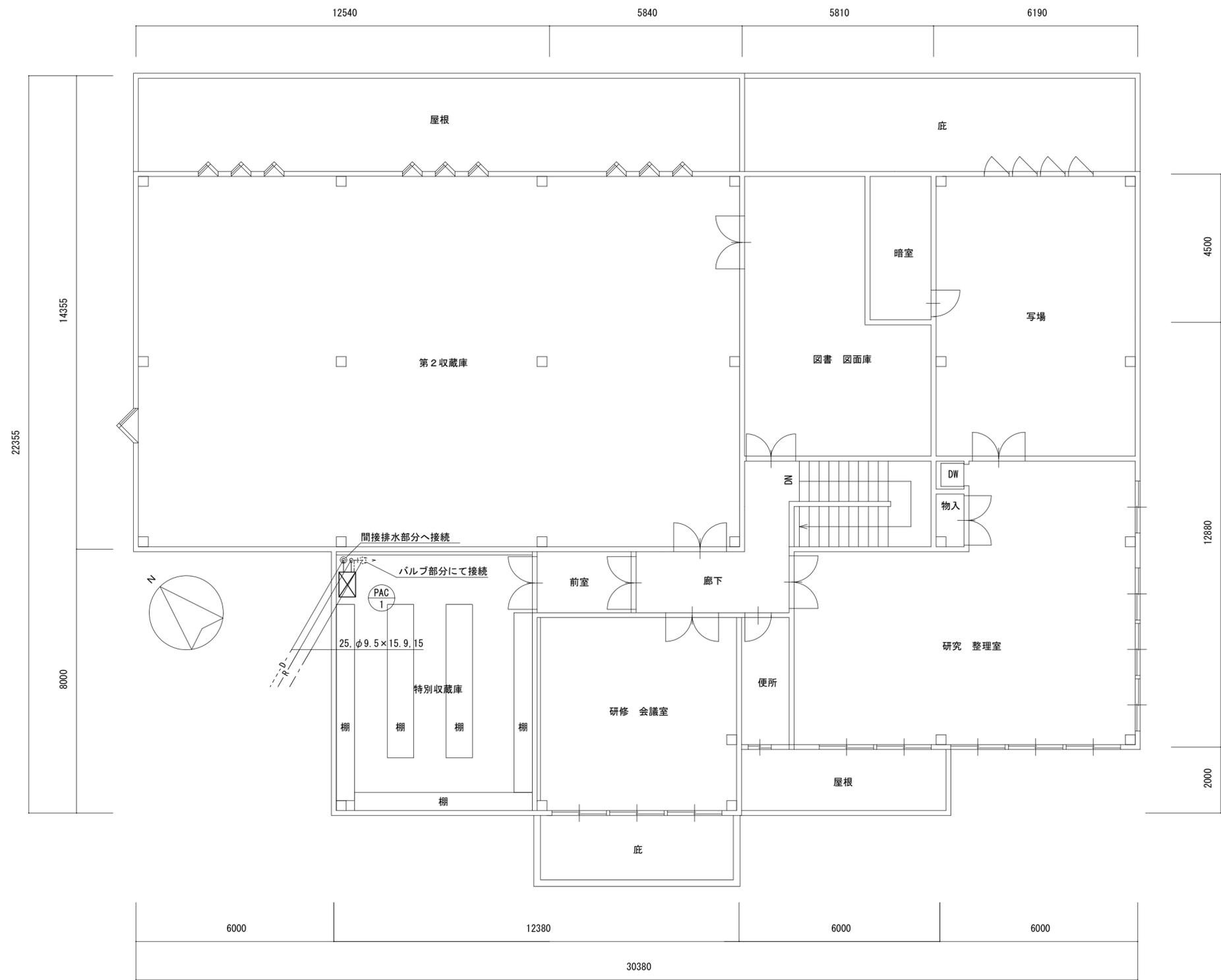
1階平面図(改修後) S=1/100

空調機器表(新設)			
記号	形式・名称	仕様(参考型式)	台数
PAC-1	床置形 エアコン 恒温・恒湿用	冷房能力: 12.5kW 暖房能力: 14.0kW (PFHV-P140DMJ1(BS)) "フレムファン", "パ"-"パ"ン加湿器, 冷房再加熱用電気ヒーター電熱器(補助)14.0kW 遠方操作部品, M制御遠方表示キツ, 軟水器(HWF-C10), 木台, 他付属品 既製コンクリート基礎, ゴムシート	1
(注記)			
運転特性・能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。空調機トッランナー基準改定仕様とする。			
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。室外機-室内機間の連絡線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。			
リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震揺れ止め、転倒防止を施す事。機器は同等品以上とする。			
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様による。			

- 空調設備改修工事要領
1. 空調室内外機の撤去新設をおこなう。
 2. 室外機はSUS製* Rにて固定、Wナットにて締付けの事。アソカはケガアソカ仕様。
 3. 冷媒管、室内外連絡線は既設撤去新設をおこなう。
 4. ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。
 5. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。
 6. 既設温湿度計を撤去する。

凡例		
図示記号	名称	備考
—	新設配管	
- - -	既設配管	
- - -	既設配管 新設配管接続部分	
R	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管 : 10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管 : 20mm 保温仕様 屋外露出 : ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ 屋内露出 : 樹脂製カバー仕上げ
D	ドレン管	屋内 : 保温層付VP
☆	コア抜き箇所	
□	既設天井点検口	□450
□	新設点検口	□450
□	天井復旧箇所	天井化粧せこうボード張り厚9.5

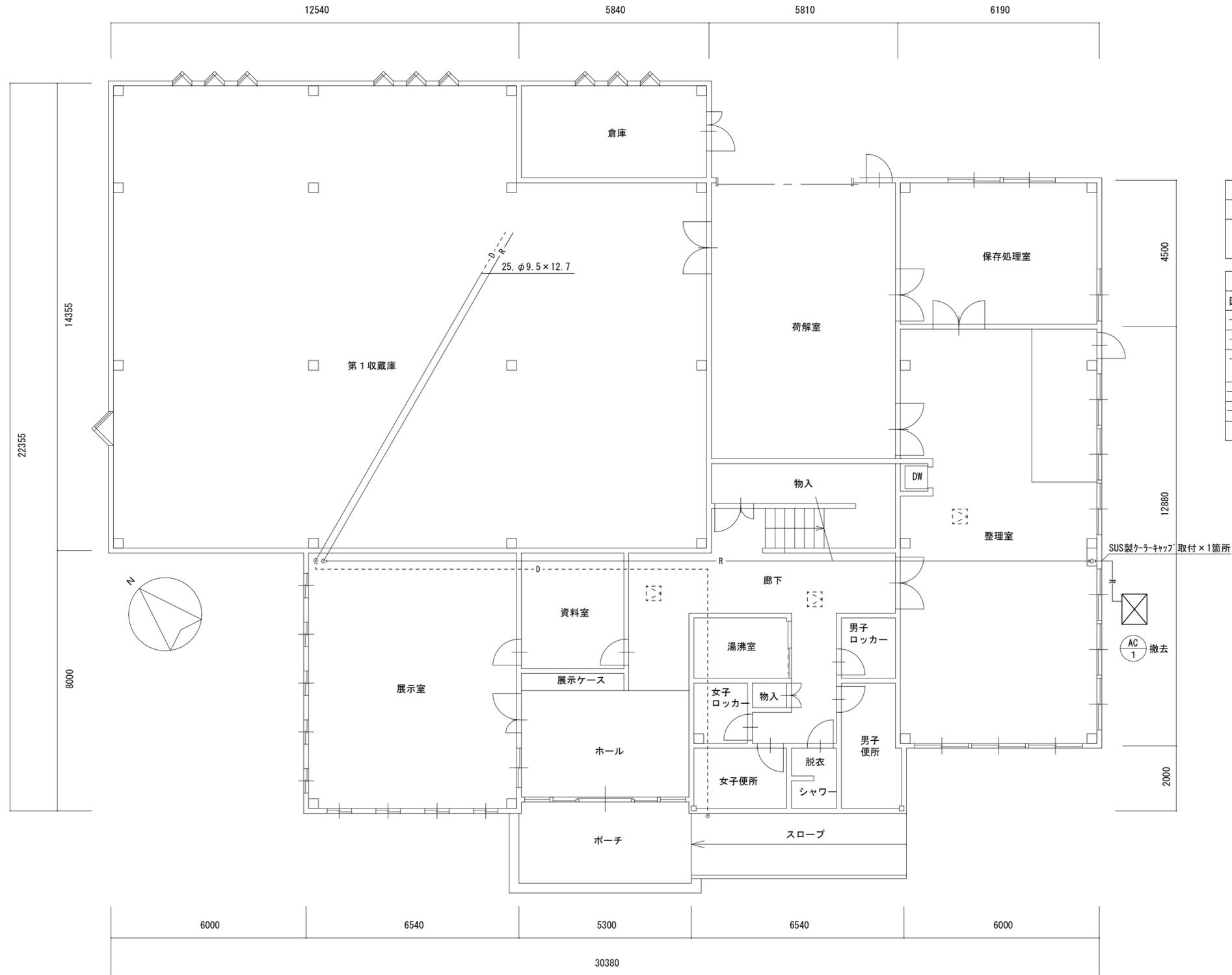
津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	1階平面図・機器表(改修後)	原図 : A 2
津市建設部営繕課		No. 2/7



凡 例		
図示記号	名 称	備 考
—	新設配管	
---	既設配管	
—H—	既設配管 新設配管接続部分	
—R—	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管 : 10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管 : 20mm 保温仕様 屋外露出 : ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ 屋内露出 : 樹脂製カバー仕上げ
—D—	ドレン管	屋内 : 保温層付VP
---	給水管	屋内 : SGP-VB 保温仕様 屋内露出 : グラスウール+樹脂製カバー仕上げ

2階平面図(改修後) S-1/100

津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	2階平面図(改修後)	原図 : A 2
津市建設部営繕課		No. 3/7



空調機器表 (撤去)			
記号	形式・名称	仕様	台数
AC-1	床置形 エアコン 恒温・恒湿用	冷房能力：6,300Kcal/h 暖房能力：2,580Kcal/h 電熱器、加湿器、温湿度調節器等付属品一式 (24時間 恒温・恒湿運転)	1

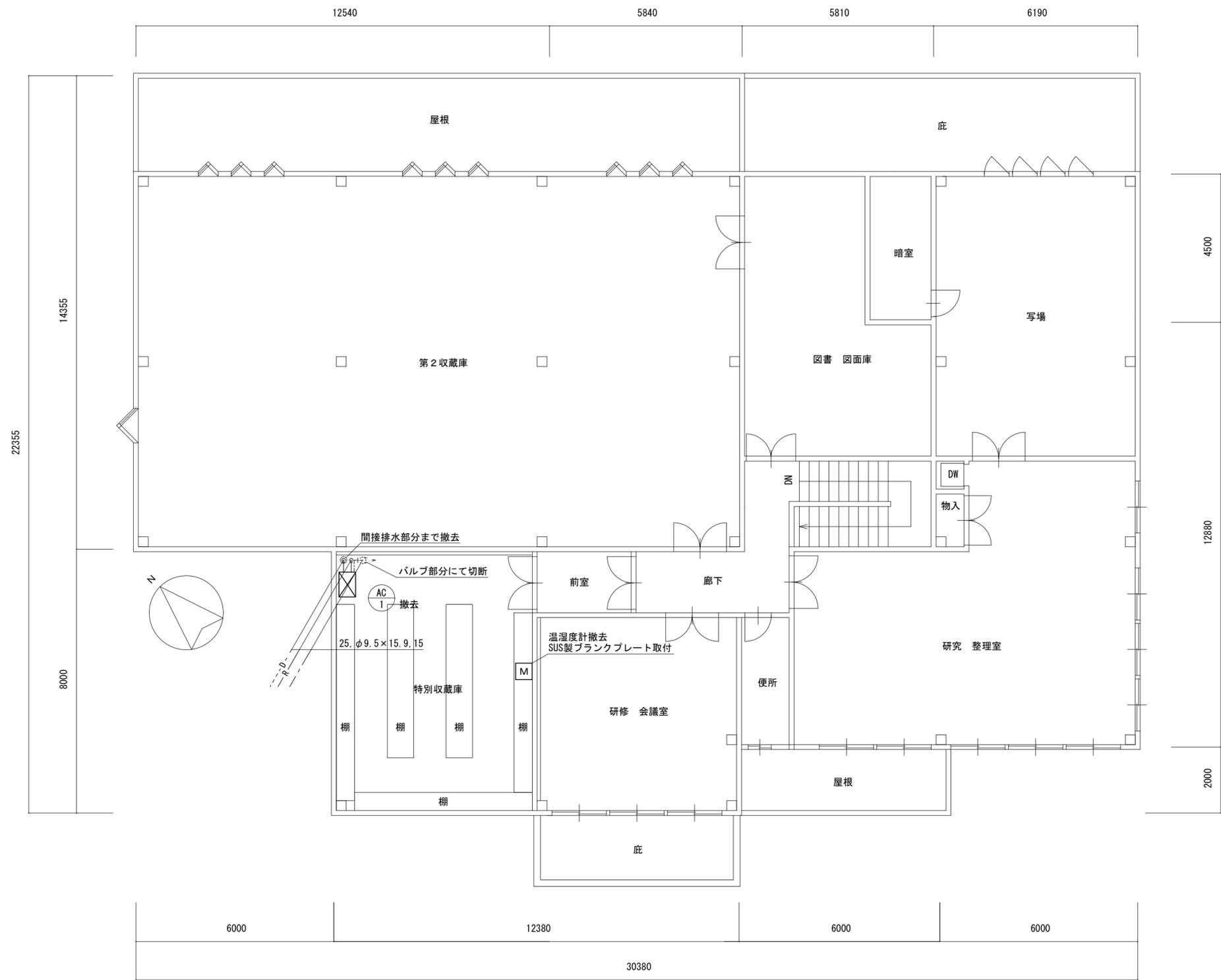
凡 例		
図示記号	名 称	備 考
—	撤去配管	
—	現状維持配管	
— —	現状配管 撤去配管切断部分	
—R—	冷媒管	
—D—	ドレン管	
□	既設天井点検口	□450

SUS製クーラーキャップ 取付×1箇所

AC 1 撤去

1階平面図(改修前) S=1/100

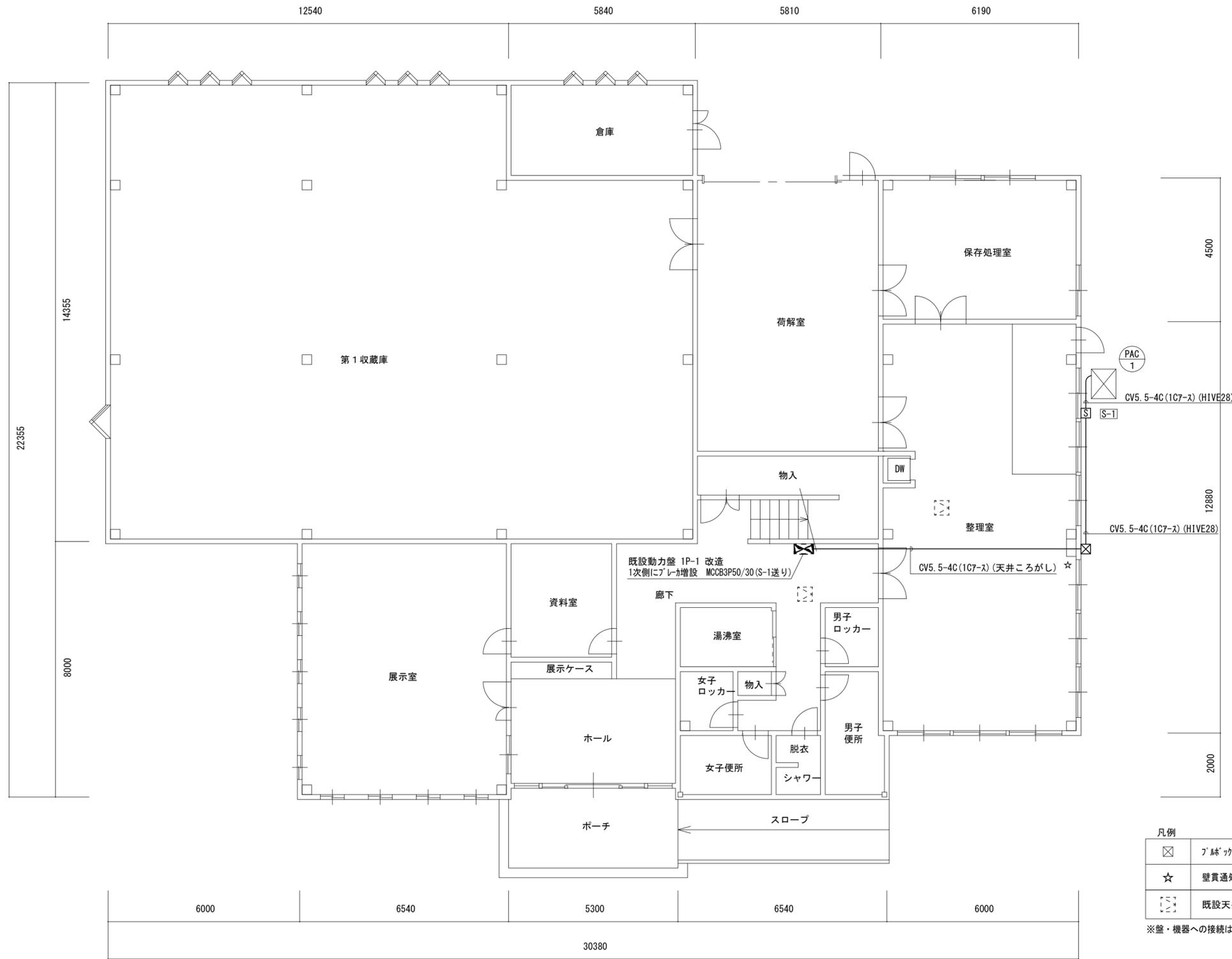
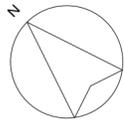
津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	1階平面図・機器表(改修前)	原因：A 2
津市建設部営繕課		No. 4/7



凡 例		
図示記号	名 称	備 考
—	撤去配管	
—	既設配管	
—H—	既設配管 撤去配管切断部分	
—R—	冷媒管	
—D—	ドレン管	
[M]	温湿度計	

2階平面図(改修前) S-1/100

津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	2階平面図(改修前)	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 5/7



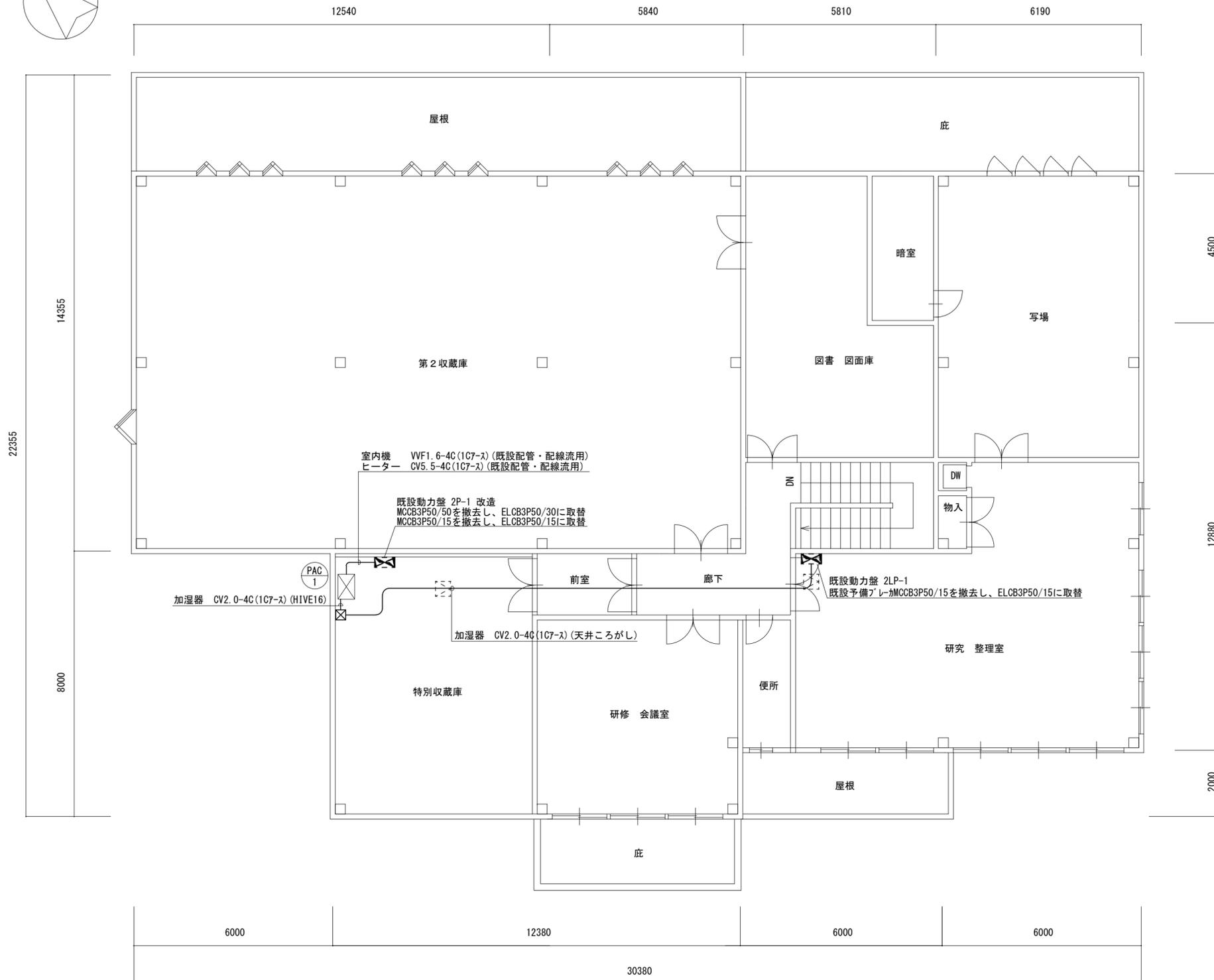
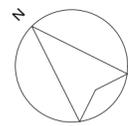
[S]	手元開閉器函
S-1	ELCB3P50/30 x 1 屋外防水仕様、SUS製 壁掛型

凡例	
☒	ブチガス 200×200×200 SUSWP
☆	壁貫通処理
☐	既設天井点検口 □450

※盤・機器への接続は金属製可とう電線管(ビニル被覆・防水)を使用すること

電気設備 1階平面図 S-1/100

津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	電気設備 1階平面図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 6/7



凡例	
☒	100×100×100 VE
☐	既設天井点検口 □450

電気設備 2階平面図 S=1/100

津市埋蔵文化財センター空調設備改修工事		縮尺 1/100
図面名称	電気設備 2階平面図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 7/7